



発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所
〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486
営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

2020/ 3/5
木曜日

厚別アラ歩き #30 ひばりが丘③

大正時代の地形図に載っている神社は「旭町神社」(図1)とありました。1944(昭和19)年に信濃神社に合祀され、現在その場所に神社はありません。ところが、その近くに小さな祠が今も祀られているのを私は知りました。厚別中央3条2丁目、国道12号沿いにある会社のビルの屋上です。私は会社を訪ね、祠の由来をお訊きしました。祠は「青森県にある神社を祀っている」とのことです。祠の前にある鳥居の扁額には「猿賀神社」と書かれています(図2)。猿賀神社は青森県津軽地方にある神社です。会社の総務部長さんによると「毎月初め、豊平神社の宮司さんに来てもらって安全祈願のお祓いをしてもらっている」というのですが、それ以上の詳しいことはわかりません。

私は手がかりを求めて豊平神社(図3)に赴きました。宮司さんが言うには「会社の先代社長がビルを建てたとき『もともと(敷地に)あった神社なので粗末にできない』と言って(屋上に)祀ったと聞いています」。実は豊平神社も、猿賀神社の祭神が祀られています。札幌で猿賀神社から分祠されたのは豊平神社と厚別の祠だけだそうです。では豊平神社はなぜ、猿賀神社とゆかりがあるのでしょうか。同社は「明治四年、入植の阿部仁太郎氏が郷里青森の猿賀神社祭神を、現在の神殿の東方に小祠を建て、奉斎したのにはじまる」といいます(末注①)。阿部仁太郎(図4)は小紙前号でお伝えしたように、明治時代、厚別に農場を拓きました。旭町に居を構え、「旭町神社」を祀った人でもあります。ここで、祠ー豊平神社ー阿部仁太郎ー旭町というつながりが見えてきました。

(地域史研究者 杉浦正人)



図1：旭町神社(伝大正時代撮影、末注②)



図2：国道12号沿いのビル屋上の祠



図3：豊平神社

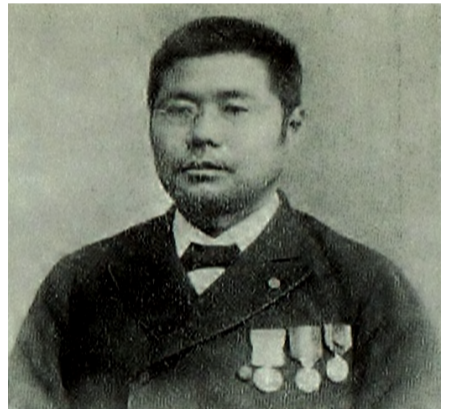


図4：阿部仁太郎(末注③)

注①：札幌市教育委員会『さっぽろ文庫39 札幌の寺社』1986年、p.66

注②：阿部家ご子孫所蔵写真

注③：札幌市厚別区『あつべつ区再考』1994年、p.60から転載

道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティアみんなで献血へ行こう！



★みなさまの血液は、
誰かのいのちに繋がります★

～A型・O型・AB型の不足に非常に困っています～

～新さっぽろ献血ルームのご案内～

◇厚別中央2-5 Duo(デュオ) 地下1階

◇受付時間 ①10:00～13:00 ②14:00～18:00

★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。また、キッズスペースも充実！安心して献血いただけます。



※北海道赤十字センターHPより転載
詳しくは北海道赤十字センターHPにてご確認下さい。
<https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/>

販売所からのお知らせ

毎年好評の『病院』本、新年度版いよいよ発売！

道新
プラス

北海道の 病院2020

手術数・治療数ランキング

胃がん、肺がん、大腸がん、肝がん、膵臓がん、胆道がん、乳がん、子宮がん、子宮体がん、卵巣がん、胃がん、前立腺がん、膀胱がん、食道がん、白血病、甲状腺がん、放射線治療、脳卒中、脳腫瘍、心臓疾患、不整脈、目の病気、耳の病気、整形外科、形成外科、肛門科、小児外科

がん

・北海道がん治療の最新情報
・患者と家族への心のケア

◎特集

- どうなる地域医療
- 「呼吸のヨガ」マインドフルネス入門
- 安眠を妨げる「レストレスレッグス症候群」とは
- 患者体験談
古村比呂(女優)、梅沢俊(植物写真家)ほか
- がん患者がつづる「緩和ケアのいま」
- 歯の健康 オーラルフレイル

全病院+おもな診療所リスト

2020年2月20日発売 定価880円(本体800円+税)



申込み
お問い合わせは

(株)道新販売センター
青葉中央販売所
フリーダイヤル:0120-881-365